

## ◇ 消防用設備等早見表

### ●1 消防用設備等早見表の使用上の注意

- (1) 簡便に消防用設備等を調べるものであり、施行令、施行規則、技術基準・規格又は条例等で必ず確認すること。
- (2) 面積・階数・人数・高さ等の数値は一部を除き「以上」であること。
- (3) 面積については、延べ面積、床面積又は該当部分の面積であること。
- (4) 収容人員については、全体、階又はその部分の人数であること。
- (5) 高さについては、建築物の最高の高さ、軒の高さ、床面からの高さ、天井までの高さ又は屋根裏までの高さであること。
- (6) ●2において、太字は消防用設備等が防火対象物全体又はその部分全体に必要なものであること。
- (7) ゴシック体で斜体は、条例、例規等によるものであること。
- (8) 削除
- (9) 明朝体は、消防用設備等以外のものであること。
- (10) 削除

◇●1(10)平成28年4月1日削除

◇●1(8)平成29年1月1日削除

## ● 2 用途別

1 項イ (劇場・映画館・演芸場・観覧場)・□ (公会堂・集会場)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+客席 (固定椅子、長椅子/0.4m、立見席/0.2 m <sup>2</sup> 、その他/0.5 m <sup>2</sup> )		
消火器具	全部 (1 項イ)、150 m <sup>2</sup> (1 項□)		
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
	木造+3 階居室	全部	
屋内消火栓設備 (1 号又は 2 号)	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・4 階	100 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
スプリンクラー設備	舞台部	500 m <sup>2</sup> 、300 m <sup>2</sup> (地階・無窓階・4 階)	
	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
特殊消火設備	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
屋外消火栓設備	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup>	
	特定 1 階段	全部	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多量用厨房、ボイラー室、電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 m <sup>2</sup> (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階 (耐火 2 階除く。)	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	客席	客席誘導灯	
	床面積 1,000 m <sup>2</sup>	避難口 (A、BH、BL+点滅)、通路 (A、BH、C (廊下))	
消防用水	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、駅舎+地下複数路線・地下 3 階	
	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階・2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
排煙設備	舞台部	500 m <sup>2</sup>	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

2 項イ (キャバレー)・ロ (遊技場)・ハ (性風俗営業)・ニ (個室型店舗)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 ㎡、5 階+20,000 ㎡、50,000 ㎡	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部 (2 項ニ)、300 ㎡、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+遊戯者 (2 項ロ)+客席 (固定椅子、長椅子/0.5m、立見席/0.2 ㎡、その他 (2 項ロ除く。)/3 ㎡)		
消火器具	全部		
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	700 ㎡	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 ㎡	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 ㎡以下 (耐火+6 階以下)、2,000 ㎡以下 (3 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 ㎡以下 (耐火+4 階以下)、1,000 ㎡以下 (2 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	全部	
	平屋以外	6,000 ㎡	
	地階・無窓階・4 階	1,000 ㎡	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階		全部
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 ㎡ (屋上)、400 ㎡ (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 ㎡ (1 階)、200 ㎡ (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 ㎡ (1 階)、200 ㎡ (地階・2 階)、300 ㎡ (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 ㎡	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 ㎡	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 ㎡、6,000 ㎡ (準耐火)、9,000 ㎡ (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	2 項ニ	全部 (300 ㎡未満は特定小規模施設用自動火災報知設備可)
		2 項イ、ロ、ハ	300 ㎡
	特定 1 階段	全部	
	地階・無窓階	100 ㎡	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 ㎡	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 ㎡ (屋上)、400 ㎡ (屋内)	
多衆用厨房・ボイラー室・電気室		50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 ㎡	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 ㎡、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 ㎡ (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階 (耐火 2 階除く。)+地階	50 人	
	2 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	床面積 1,000 ㎡	避難口 (A、BH、BL+点滅)、通路 (A、BH、C (廊下))	
	非常電源 60 分	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡	
消防用水	敷地 20,000 ㎡+1 階・2 階	5,000 ㎡、10,000 ㎡ (準耐火)、15,000 ㎡ (耐火)	
	31m 超	25,000 ㎡ (地階部分面積除く。)	
排煙設備	地階・無窓階	1,000 ㎡	
連結散水設備	地階	700 ㎡	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 ㎡	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡、11 階+10,000 ㎡+300 人、5 階+20,000 ㎡、地階+5,000 ㎡		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

3 項イ (待合・料理店)・ロ (飲食店)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+客席 (固定椅子、長椅子/0.5m、その他/3 m <sup>2</sup> )		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup> (調理を目的とした火を使用する設備又は器具を設けたものは全部)	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1号・2号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
スプリンクラー設備	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup>	
	特定 1 階段	全部	
	地階・無窓階	100 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階 (耐火 2 階除く。)+地階	50 人	
	2 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	床面積 1,000 m <sup>2</sup>	避難口 (A、BH、BL+点滅)、通路 (A、BH、C (廊下))	
消防用水	非常電源 60 分	50,000 m <sup>3</sup> 、15 階+30,000 m <sup>3</sup>	
	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>3</sup> 、10,000 m <sup>3</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>3</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>3</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

4 項（百貨店・マーケット・物品販売店舗）			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+従業員以外部分（飲食・休憩/3 m <sup>2</sup> 、その他/4 m <sup>2</sup> ）		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（I 型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（II 型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	全部	
	平屋以外	3,000 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・4 階	1,000 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup>	
	特定 1 階段	全部	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報器具	20 人		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階（耐火 2 階除く。）・地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	床面積 1,000 m <sup>2</sup>	避難口（A、BH、BL+点滅）、通路（A、BH、C（廊下））	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
排煙設備	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

5 項イ (ホテル・旅館)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+宿泊室 (ベッド数、和室/6 m <sup>2</sup> 、簡易宿泊所・団体/3 m <sup>2</sup> ) + 集会・飲食・休憩 (固定椅子、長椅子/0.5m、その他/3 m <sup>2</sup> )		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
スプリンクラー設備	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
パッケージ型自動消火設備 (I 型)	10,000 m <sup>2</sup> 以下		
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	全部 (300 m <sup>2</sup> 未満特定小規模施設用自動火災報知設備可)		
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	150 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 m <sup>2</sup>		
非常警報設備	20 人		
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階・地階	30 人、10 人 (下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。)	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

5 項口（共同住宅・寄宿舎）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	居住者		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（I 型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（II 型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーク側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	150 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	一般	800 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階・地階	30 人、10 人（下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。）	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーク側面建築物+4 階		

※ 特定共同住宅の消防用設備等の一部は、構造類型により通常用いられる消防用設備等に替えて必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等を設置する。

6 項イ (病院・診療所・助産所)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部 (宿泊)、300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+病室内病床+待合室/3 m <sup>2</sup>		
消火器具	(1)から(3)	全部	
	(4)	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
	一般	700 m <sup>2</sup>	(1)(2)1000 m <sup>2</sup> (耐火、準耐火+内装制限)、(3)(4)2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
屋内消火栓設備 (1号・2号)	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備 (II型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	(1)、(2)	全部 (基準面積 1,000 m <sup>2</sup> 未満特定施設水連結構型スプリンクラー設備設置可能)	
	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	(3)3,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)、(4)6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階		全部
パッケージ型自動消火設備 (I型)	10,000 m <sup>2</sup> 以下		
パッケージ型自動消火設備 (II型)	(1)、(2)	275 m <sup>2</sup> 以下	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup>	
	宿泊	全部 (300 m <sup>2</sup> 未満特定小規模施設用自動火災報知設備可)	
	特定 1 階段	全部	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	(1)から(3)	全部、(1)、(2)は要直接通報	
	(4)	500 m <sup>2</sup>	
非常警報設備	20 人		
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階・地階	20 人、10 人 (下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。)	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		



◇ 消防用設備等早見表

6 項口（特定福祉施設）				
防火管理	収容人員 10 人			
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階		
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>		
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段			
防災物品	全部			
消防用設備等検査	全部			
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段			
収容人員算定	従業者+老人・乳児・幼児・身体障害者・その他の要保護者			
消火器具	一般	全部		
大型消火器	指定可燃物等	500 倍		
屋内消火栓設備 (1号・2号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）※適用は 1,000 m <sup>2</sup> 未満まで	
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>		
屋内消火栓設備（1号）	指定可燃物等	750 倍		
バケージ型消火設備（I 型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
バケージ型消火設備（II 型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
スプリンクラー設備	(1)、(3)	全部	(基準面積 1,000 m <sup>2</sup> 未満特定施設水道連結型スプリンクラー設備可)	
	要避難介助の(2)、(4)及び(5)			
	上算以外の(2)、(4)及び(5)	275 m <sup>2</sup>		
	11 階	全部（規則 13 条部分除く。）		
	指定可燃物等	1,000 倍		
	オーバーアーケード側面建築物+5 階		全部	
バケージ型自動消火設備（I 型）	10,000 m <sup>2</sup> 以下			
バケージ型自動消火設備（II 型）	275 m <sup>2</sup> 以下			
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末	
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末	
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末	
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末	
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>		
	指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）		
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）			
自動火災報知設備	全部（300 m <sup>2</sup> 未満特定小規模施設用自動火災報知設備可）			
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>		
	温泉採取施設+1 人	全部		
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超		
消防機関へ通報する火災報知設備	全部（500 m <sup>2</sup> 未満特定火災通報装置可）※ 要直接通報			
非常警報器具	20 人			
非常警報設備	一般	50 人		
	地階・無窓階	20 人		
非常警報設備（放送設備）	一般	300 人		
	地下 3 階・11 階	全部		
避難器具	2 階・地階	20 人、10 人（下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。）		
	3 階+1 階段	10 人		
誘導灯	全部			
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）		
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）		
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>		
連結送水管	7 階	全部		
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>		
	道路の用	道路の用部分		
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分		
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分		
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>			
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超		
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階			

6 項八 (福祉施設)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部 (入居)、300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+老人・乳児・幼児・身体障害者・その他の要保護者		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
パッケージ型自動消火設備 (I 型)	10,000 m <sup>2</sup> 以下		
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup>	
	入居・宿泊	全部 (300 m <sup>2</sup> 未満特定小規模施設用自動火災報知設備可)	
	特定 1 階段	全部	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
多兼用厨房・ボイラー室・電気室	50 人		
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 m <sup>2</sup>		
非常警報器具	20 人		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階・地階	20 人、10 人 (下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。)	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

6 項二（幼稚園・特別支援学校）		
防火管理	収容人員 30 人	
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 ㎡、5 階+20,000 ㎡、50,000 ㎡
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段	
防災物品	全部	
消防用設備等検査	300 ㎡、特定 1 階段	
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡、特定 1 階段	
収容人員算定	従業者+幼児・児童・生徒	
消火器具	一般	150 ㎡
	地階・無窓階・3 階	50 ㎡
	少量危険物・指定可燃物	全部
	木造+3 階居室	全部
大型消火器	指定可燃物等	500 倍
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	700 ㎡
	地階・無窓階・4 階	150 ㎡
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍
バケージ型消火設備（I 型）	3,000 ㎡以下（耐火+6 階以下）、2,000 ㎡以下（3 階以下）	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
バケージ型消火設備（II 型）	1,500 ㎡以下（耐火+4 階以下）、1,000 ㎡以下（2 階以下）	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	全部（規則 13 条部分除く。）
	平屋以外	6,000 ㎡（規則 13 条部分除く。）
	地階・無窓階	1,000 ㎡
	4 階	1,500 ㎡（規則 13 条部分除く。）
	指定可燃物等	1,000 倍
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部
バケージ型自動消火設備（I 型）	10,000 ㎡以下	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末
	道路の用	600 ㎡（屋上）、400 ㎡（屋内） 水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階） 泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階）、300 ㎡（屋上）、機械式 10 台 水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 ㎡
	通信機器室	500 ㎡
	指定可燃物等	1,000 倍 不活性・ハロゲン・粉末
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 ㎡、6,000 ㎡（準耐火）、9,000 ㎡（耐火）
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）	
自動火災報知設備	一般	300 ㎡
	特定 1 階段	全部
	指定可燃物等	500 倍部分
	駐車場（地階・2 階）	200 ㎡
	11 階	11 階以上部分
	道路の用部分	600 ㎡（屋上）、400 ㎡（屋内）
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 ㎡
	温泉採取施設+1 人	全部
漏電火災警報器	鉄網	300 ㎡、50A 超
消防機関へ通報する火災報知設備	500 ㎡（常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）	
非常警報器具	20 人	
非常警報設備	一般	50 人
	地階・無窓階	20 人
非常警報設備（放送設備）	一般	300 人
	地下 3 階・11 階	全部
避難器具	2 階・地階	20 人、10 人（下階に 1 項から 4 項・9 項・12 項イ・13 項イ・14 項・15 項、但し小規模特定複合施設は除く。）
	3 階+1 階段	10 人
誘導灯	全部	
	非常電源 60 分	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡
消防用水	敷地 20,000 ㎡+1 階+2 階	5,000 ㎡、10,000 ㎡（準耐火）、15,000 ㎡（耐火）
	31m 超	25,000 ㎡（地階部分面積除く。）
連結散水設備	地階	700 ㎡
連結送水管	7 階	全部
	5 階	6,000 ㎡
	道路の用	道路の用部分
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分
総合操作盤	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡、11 階+10,000 ㎡+300 人、5 階+20,000 ㎡、地階+5,000 ㎡	
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階	

7 項（学校・各種学校）		
防火管理	収容人員 50 人	
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>
防災物品	31m 超	
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>	
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>	
収容人員算定	従業者+児童・生徒・学生	
消火器具	一般	300 m <sup>2</sup>
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>
	少量危険物・指定可燃物	全部
	木造+3 階居室	全部
大型消火器	指定可燃物等	500 倍
屋内消火栓設備（1号・2号）	一般	700 m <sup>2</sup>
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>
		2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
屋内消火栓設備（1号）	指定可燃物等	750 倍
パッケージ型消火設備（Ⅰ型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（Ⅱ型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）
	指定可燃物等	1,000 倍
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>
	指定可燃物等	1,000 倍
		不活性・ハロゲン・粉末
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）	
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>
	指定可燃物等	500 倍
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>
	11 階	11 階以上部分
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>
	温泉採取施設+1 人	全部
漏電火災警報器	鉄網	500 m <sup>2</sup>
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）	
非常警報設備	一般	50 人
	地階・無窓階	20 人
非常警報設備（放送設備）	一般	800 人
	地下 3 階・11 階	全部
避難器具	2 階（耐火 2 階除く）・地階	50 人
	3 階+1 階段	10 人
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>
誘導標識	全部	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>
連結送水管	7 階	全部
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>
	道路の用	道路の用部分
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>	
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階	

◇ 消防用設備等早見表

8 項（図書館・博物館・美術館）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権限+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者+（閲覧室+展示室+会議室+休憩室）/3 m		
消火器具	一般	300 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（Ⅰ型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（Ⅱ型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	500 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	一般	800 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階（耐火 2 階除く。）・地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

9 項イ (特殊浴場・熱気浴場)			
防火管理	収容人員 30 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
収容人員算定	従業者+(浴場+脱衣場+マッサージ室+休憩)/3 m		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)	地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り	
スプリンクラー設備	11 階	全部 (規則 13 条部分除く。)	
	平屋以外	6,000 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	6 項目	275 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
	4 階	1,500 m <sup>2</sup> (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	200 m <sup>2</sup>	
	特定 1 階段	全部	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
		多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人
ガス漏れ火災警報設備	地階	1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	150 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	20 人		
非常警報設備 (放送設備)	一般	300 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階 (耐火 2 階除く。)+地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	床面積 1,000 m <sup>2</sup>	避難口 (A、BH、BL+点滅)、通路 (A、BH、C (廊下))	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

9 項口（公衆浴場・銭湯）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権限+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業員+（浴場+脱衣場+マッサージ室+休憩）/3 m <sup>2</sup>		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
バケージ型消火設備（Ⅰ型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
バケージ型消火設備（Ⅱ型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	150 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報器具	20 人		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階（耐火 2 階除く。）・地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

10 項（停車場・駅舎・空港）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者		
消火器具	一般	300 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（I 型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（II 型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	500 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階（耐火 2 階除く。）・地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分 ※避難口（A、BH、BL+点滅）、通路（A、BH、C（廊下））	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、駅舎乗降場+地下複数路線・地下 3 階	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		



◇ 消防用設備等早見表

11 項（神社・寺院）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権限+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	1,000 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者+（礼拝+集会+休憩）/3 m <sup>2</sup>		
消火器具	一般	300 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号）	一般	1,000 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	200 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（I 型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（II 型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	1,000 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用部分	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	500 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	2 階（耐火 2 階除く）・地階	50 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

12 項イ（工場・作業場）・12 項ロ（テレビスタジオ）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	全部（12 項ロ）、31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号・2 号（12 項ロ））	一般	700 m <sup>2</sup>	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）
	地階・無窓階・4 階	150 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備（Ⅰ型）	3,000 m <sup>2</sup> 以下（耐火+6 階以下）、2,000 m <sup>2</sup> 以下（3 階以下）		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備（Ⅱ型）	1,500 m <sup>2</sup> 以下（耐火+4 階以下）、1,000 m <sup>2</sup> 以下（2 階以下）		
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階・2 階）	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室部分	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	500 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報器具	20 人		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	3 階	150 人	
	地階・3 階+無窓階	100 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

13 項イ (駐車場)			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分 (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	500 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 m <sup>2</sup>	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
排煙設備	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

13 項口（航空機格納庫）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者		
消火器具	一般	150 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	木造	100 m <sup>2</sup>	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	全部	泡・粉末	
	屋上ヘリポート	屋上ヘリポート部分	泡・粉末
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）、400 m <sup>2</sup> （屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> （1 階）、200 m <sup>2</sup> （地階・2 階）、300 m <sup>2</sup> （屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、9,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）		
自動火災報知設備	全部		
	道路の用	600 m <sup>2</sup> （屋上）	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> （常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> （準耐火）、15,000 m <sup>2</sup> （耐火）	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> （地階部分面積除く。）	
排煙設備	地階・無窓階	1,000 m <sup>2</sup>	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

14 項 (倉庫)			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 ㎡、5 階+20,000 ㎡、50,000 ㎡	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	500 ㎡		
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡		
収容人員算定	従業者		
消火器具	一般	150 ㎡	
	地階・無窓階・3 階	50 ㎡	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号)	一般	700 ㎡	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	150 ㎡	
	指定可燃物等	750 倍部分	
スプリンクラー設備	ラック式+天井 10m 超	700 ㎡ ※	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	11 階	11 階以上部分 (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍部分	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート		泡・粉末
	道路の用	600 ㎡ (屋上)、400 ㎡ (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 ㎡ (1 階)、200 ㎡ (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 ㎡ (1 階)、200 ㎡ (地階・2 階)、300 ㎡ (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 ㎡	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 ㎡	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 ㎡、6,000 ㎡ (準耐火)、9,000 ㎡ (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	500 ㎡	
	地階・無窓階・3 階	300 ㎡	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 ㎡	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 ㎡ (屋上)、400 ㎡ (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	1,000 ㎡	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 ㎡ (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 ㎡+1 階+2 階	5,000 ㎡、10,000 ㎡ (準耐火)、15,000 ㎡ (耐火)	
	31m 超	25,000 ㎡ (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 ㎡	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 ㎡	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 ㎡、15 階+30,000 ㎡、地階+5,000 ㎡		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

※1 ラック式倉庫の延べ面積は各階の床面積の合計によるが、ラック等を設けた部分はラック等の間の搬送通路を含めた水平面積によること。

※2 ラック等を設けた部分とその他の部分が耐火構造又は準耐火構造の床又は壁で区画され、その開口部に随時開放できる自動閉鎖式又は煙感知器連動閉鎖の防火戸を設けるもの又はラック等を設けた部分の周囲に幅 5m の空地が保有されている場合は、ラック等部分の水平投影面積によること。

※3 ラック等を設けた部分の面積が延べ面積の 10% 未満、かつ、300 ㎡の場合はラック式倉庫に該当しない。

15 項 (その他)			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup>	
防災物品	31m 超		
消防用設備等検査	1,000 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	従業者+従業者以外/3 m		
消火器具	一般	300 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	一般	1,000 m <sup>2</sup>	2 倍 (耐火、準耐火+内装制限)、3 倍 (耐火+内装制限)
	地階・無窓階・4 階	200 m <sup>2</sup>	
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備 (I 型)	3,000 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+6 階以下)、2,000 m <sup>2</sup> 以下 (3 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
パッケージ型消火設備 (II 型)	1,500 m <sup>2</sup> 以下 (耐火+4 階以下)、1,000 m <sup>2</sup> 以下 (2 階以下)		地階・無窓階・指定可燃物等不可+設置場所制限有り
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分 (規則 13 条部分除く。)	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	1,000 倍	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 m <sup>2</sup> 、6,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、9,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	1,000 m <sup>2</sup>	
	地階・無窓階・3 階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	1,000 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	1,000 m <sup>2</sup> (常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要)		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
非常警報設備 (放送設備)	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	3 階	150 人	
	3 階+地階・無窓階	100 人	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup>	
誘導標識	全部		
消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +1 階+2 階	5,000 m <sup>2</sup> 、10,000 m <sup>2</sup> (準耐火)、15,000 m <sup>2</sup> (耐火)	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

◇ 消防用設備等早見表

16 項イ (特定複合用途)			
防火管理	収容人員 30 人、6 項口部分 10 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超、複数管理権原+3 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup> ※ 5 項口、14 項、13 項口、16 の 3 項及び 18 項から 20 項除く。	
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
防災物品	特定用途及び 12 項口部分、31m 超		
消防用設備等検査	全部 (2 項二、5 項イ、6 項イ及び八 (宿泊・入居)、6 項口)、300 m <sup>2</sup> 、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	各用途部分の合計		
消火器具	一般	用途ごと	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室 300 m <sup>2</sup>	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	用途ごと		
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
パッケージ型消火設備	用途ごと (13 項・14 項部分には設置できない。)		
スプリンクラー設備	一般	用途ごと	
	11 階	全部	
	特定部分の存する階	特定部分 3,000 m <sup>2</sup>	
		地階・無窓階+特定部分 1,000 m <sup>2</sup>	
		4 階+特定部分 1,500 m <sup>2</sup>	
4 階+2 項・4 項存在+特定部分 1,000 m <sup>2</sup>	1,000 倍		
オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部		
パッケージ型自動消火設備 (I 型)	10,000 m <sup>2</sup> 以下 (5 項及び 6 項部分に限る。)		
パッケージ型自動消火設備 (II 型)	275 m <sup>2</sup> 以下 (6 項イ(1)、(2)及び口部分に限る。)		
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	用途ごと		
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	300 m <sup>2</sup> ※ 500 m <sup>2</sup> 未済+区画+居住型福祉施設は、複合型居住施設用自動火災報知設備設置可 (居住型福祉施設部分)	
	特定 1 階段	全部	
	地階・無窓階	2 項・3 項存在+100 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
その他	用途ごと		
ガス漏れ火災警報設備	一般	用途ごと	
	特定部分 500 m <sup>2</sup>	地階+1,000 m <sup>2</sup>	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	一般	用途ごと	
	特定部分 300 m <sup>2</sup>	鉄網+500 m <sup>2</sup> 、50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	用途ごと ※ 要直接通報 (6 項イ(1)、(2)及び 6 項口)		
非常警報器具	用途ごと		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
	その他	用途ごと	
非常警報設備 (放送設備)	一般	500 人	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	一般	用途ごと	
	3 階+1 階段	10 人	
誘導灯	全部		
	床面積 1,000 m <sup>2</sup>	避難口 (A、BH、BL+点滅)、通路 (A、BH、C (廊下))	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、駅舎乗降場+地下複線路線・地下 3 階	
消防用水	一般	用途ごと	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
排煙設備	用途ごと		
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
	7 階	全部	
連結送水管	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、11 階+10,000 m <sup>2</sup> +300 人、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	地階、31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		

16 項目（非特定複合用途）			
防火管理	収容人員 50 人		
統括防火管理	要防火管理	複数管理権原+高層 31m 超、複数管理権原+5 階	
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 m <sup>2</sup> 、5 階+20,000 m <sup>2</sup> 、50,000 m <sup>2</sup> ※ 5 項目、14 項、13 項目、16 の 3 項及び 18 項から 20 項除く。	
防災物品	31m 超、12 項目部分		
消防用設備等検査	500 m <sup>2</sup>		
消防用設備等点検要資格者	1,000 m <sup>2</sup>		
収容人員算定	各用途部分の合計		
消火器具	一般	用途ごと	
	地階・無窓階・3 階	50 m <sup>2</sup>	
	少量危険物・指定可燃物	全部	
	木造+3 階居室	全部	
	300 m <sup>2</sup>		
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	用途ごと (14 項 2 号)		
パッケージ型消火設備	用途ごと (13 項・14 項部分には設置できない。)		
屋内消火栓設備 (1 号)	指定可燃物等	750 倍	
スプリンクラー設備	一般	用途ごと	
	11 階	11 階以上	
	指定可燃物等	1,000 倍	
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部	
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 m <sup>2</sup> (1 階)、200 m <sup>2</sup> (地階・2 階)、 300 m <sup>2</sup> (屋上)、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・ 粉末
	電気室・多量火気使用室	200 m <sup>2</sup>	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
指定可燃物等	1,000 倍		
屋外消火栓設備	用途ごと		
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一 (1 階及び 2 階のみ有効)		
自動火災報知設備	一般	用途ごと	
	地階・無窓階	300 m <sup>2</sup>	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場 (地階・2 階)	200 m <sup>2</sup>	
	11 階	11 階以上部分	
	道路の用	600 m <sup>2</sup> (屋上)、400 m <sup>2</sup> (屋内)	
	通信機器室	500 m <sup>2</sup>	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	一般	用途ごと	
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	一般	用途ごと	
	鉄網	50A 超	
消防機関へ通報する火災報知設備	用途ごと		
非常警報器具	用途ごと		
非常警報設備	一般	50 人	
	地階・無窓階	20 人	
	その他	用途ごと	
非常警報設備 (放送設備)	一般	用途ごと	
	地下 3 階・11 階	全部	
避難器具	用途ごと		
誘導灯	地階・無窓階・11 階	地階・無窓階・11 階以上部分	
	非常電源 60 分	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、駅舎乗降場+地下複数路線・地下 3 階	
誘導標識	全部		
消防用水	一般	用途ごと	
	31m 超	25,000 m <sup>2</sup> (地階部分面積除く。)	
排煙設備	用途ごと		
連結散水設備	地階	700 m <sup>2</sup>	
連結送水管	7 階	全部	
	5 階	6,000 m <sup>2</sup>	
	道路の用	道路の用部分	
	ヘリポート	ヘリポート部分	
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分	
総合操作盤	50,000 m <sup>2</sup> 、15 階+30,000 m <sup>2</sup> 、地階+5,000 m <sup>2</sup>		
フード等自動消火装置	厨房入力 350 KW	31m 超	
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階		



◇ 消防用設備等早見表

16の2項（地下街）			
防火管理者	収容人員 30 人、6 項口部分 10 人		
統括防火管理	複数管理権原+消防長又は消防署長が指定した地下街		
防火対象物点検	収容人員 300 人、特定 1 階段		
自衛消防組織	要防火管理+1,000 ㎡		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部（2 項二、5 項イ、6 項イ及びハ（宿泊・入居）、6 項口）、300 ㎡、特定 1 階段		
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡		
収容人員算定	各用途部分の合計		
消火器具	全部		
大型消火器	指定可燃物等	500 倍	
屋内消火栓設備 (1 号・2 号)	150 ㎡	2 倍（耐火、準耐火+内装制限）、3 倍（耐火+内装制限）	
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍	
スプリンクラー設備	1,000 ㎡		
	6 項口存在	6 項口部分	
	指定可燃物等	1,000 倍	
パッケージ型自動消火設備（I 型）	(6) 項イ(1)若しくは(2)又は口の部分	10,000 ㎡以下	
パッケージ型自動消火設備（II 型）	(6) 項イ(1)若しくは(2)又は口の部分	275 ㎡以下	
特殊消火設備	道路の用	400 ㎡（屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階）、 300 ㎡（屋上）、機械式 10 台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・ 粉末
	電気室・多量火気使用室	200 ㎡	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500 ㎡	
	指定可燃物等	1,000 倍	
自動火災報知設備	一般	300 ㎡	
	特定 1 階段	全部	
	2 項二等	2 項二、5 項イ、6 項イ（宿泊）、6 項口及び 6 項ハ（入居、宿泊）の部分	
	指定可燃物等	500 倍	
	駐車場（地階）	200 ㎡	
	道路の用	400 ㎡（屋内）	
	多量用厨房・ボイラー室・電気室部分	50 人	
ガス漏れ火災警報設備	1,000 ㎡		
	温泉採取施設+1 人	全部	
漏電火災警報器	鉄網	300 ㎡	
消防機関へ通報する火災報知設備	全部（常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要（5 項イ、6 項イ(1)から(3)、6 項イ(4)+500 ㎡、6 項ハ+500 ㎡及び 6 項口除く。）※ 要直接通報（6 項イ(1)・(2)及び口）		
非常警報設備（放送設備）	全部		
誘導灯	全部		
	非常電源 60 分	1,000 ㎡	
排煙設備	1,000 ㎡		
連結散水設備	700 ㎡		
連結送水管	1,000 ㎡		
非常コンセント設備	1,000 ㎡		
無線通信補助設備	1,000 ㎡		
総合操作盤	1,000 ㎡		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW		

16の3項（準地下街）			
共同防火管理	複数管理権原		
防災物品	全部		
消防用設備等検査	全部（2項二、5項イ、6項イ及びハ（宿泊・入居）、6項ロ）、300㎡		
消防用設備等点検要資格者	1,000㎡		
消火器具	全部		
大型消火器	指定可燃物等	500倍	
屋内消火栓設備 （1号・2号）	用途ごと		
屋内消火栓設備（1号）	指定可燃物等	750倍	
スプリンクラー設備	1,000㎡+特定用途 500㎡		
	指定可燃物等	1,000倍	
特殊消火設備	道路の用	400㎡（屋内）	水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500㎡（1階）、200㎡（地階・2階）	泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500㎡（1階）、200㎡（地階・2階）、 300㎡（屋上）、機械式10台	水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・ 粉末
	電気室・多量火気使用室	200㎡	不活性・ハロゲン・粉末
	通信機器室	500㎡	
	指定可燃物等	1,000倍	
自動火災報知設備	一般	500㎡+特定用途 300㎡	
	指定可燃物等	500倍	
	駐車場（地階）	200㎡	
	道路の用	400㎡（屋内）	
	多衆用厨房・ボイラー室・電気室部分	50人	
ガス漏れ火災警報設備	1,000㎡+特定用途 500㎡		
	温泉採取施設+1人	全部	
消防機関へ通報する火災報知設備	全部（常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要（5項イ、6項イ(1)から(3)、6項イ(4)+500㎡、6項ハ+500㎡及び6項ロ除く。）※ 要直接通報（6項イ(1)・(2)及びロ）		
非常警報設備（放送設備）	全部		
誘導灯	全部	避難口（A、BH、BL+点滅）、通路（A、BH、C（廊下））	
排煙設備	用途ごと		
連結散水設備	700㎡		
連結送水管	各接続部分による		
非常コンセント設備	1,000㎡		
無線通信補助設備	1,000㎡		
総合操作盤	1,000㎡		
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW		

◇ 消防用設備等早見表

17 項（指定文化財の建造物）		
防火管理	収容人員 50 人	
共同防火管理	要防火管理	複数管理権原+31m 超
自衛消防組織	要防火管理	11 階+10,000 ㎡、5 階+20,000 ㎡、50,000 ㎡
防災物品	31m 超	
消防用設備等検査	300 ㎡	
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡	
収容人員算定	床面積/5 ㎡	
消火器具	全部	
大型消火器	指定可燃物等	500 倍
屋内消火栓設備（1 号）	指定可燃物等	750 倍
スプリンクラー設備	11 階	11 階以上部分（規則 13 条部分除く。）
	指定可燃物等	1,000 倍
	オーバーアーケード側面建築物+5 階	全部
特殊消火設備	屋上ヘリポート	泡・粉末
	道路の用	600 ㎡（屋上）、400 ㎡（屋内） 水噴霧・泡・不活性・粉末
	自動車修理工場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階） 泡・不活性・ハロゲン・粉末
	駐車場	500 ㎡（1 階）、200 ㎡（地階・2 階）、300 ㎡（屋上）、機械式 10 台 水噴霧・泡・不活性・ハロゲン・粉末
	電気室・多量火気使用室	200 ㎡
	通信機器室	500 ㎡
	指定可燃物等	1,000 倍
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 ㎡、6,000 ㎡（準耐火）、9,000 ㎡（耐火）
動力消防ポンプ設備	屋内消火栓設備・屋外消火栓設備と同一（1 階及び 2 階のみ有効）	
自動火災報知設備	全部	
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人	全部
漏電火災警報器	鉄網	全部
消防機関へ通報する火災報知設備	500 ㎡（常時通報できる電話を設置した場合、消防機関 500m 以内等は設置不要）	
非常警報設備	一般	50 人
	地階・無窓階	20 人
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階・11 階	全部
避難器具	3 階+1 階段	10 人
消防用水	敷地 20,000 ㎡+1 階+2 階	5,000 ㎡、10,000 ㎡（準耐火）、15,000 ㎡（耐火）
	31m 超	25,000 ㎡（地階部分面積除く。）
連結散水設備	地階	700 ㎡
連結送水管	7 階	全部
	5 階	6,000 ㎡
	道路の用	道路の用部分
	屋上ヘリポート	ヘリポート部分
非常コンセント設備	11 階	11 階以上部分
フード等自動消火装置	厨房入力 350KW	31m 超
消防隊進入はしご	オーバーアーケード側面建築物+4 階	

※ 指定文化財建築物等が、1 項から 16 項の用途に該当する場合は、当該用途による消防用設備等も必要であること。

18 項（延長 50m 以上のアーケード）		
消防用設備等検査	300 ㎡	
消防用設備等点検要資格者	1,000 ㎡	
屋外消火栓設備	1 階+2 階	3,000 ㎡、6,000 ㎡（準耐火）、9,000 ㎡（耐火）
非常警報設備	オーバーアーケード	全部
消防用水	敷地 20,000 ㎡+1 階+2 階	5,000 ㎡、10,000 ㎡（準耐火）、15,000 ㎡（耐火）
	31m 超	25,000 ㎡（地階部分面積除く。）
連結送水管	全部	
コンセント設備	オーバーアーケード	全部
排煙装置	オーバーアーケード	全部
投光器	オーバーアーケード	全部
消火足場	オーバーアーケード	全部
消防隊登はんはしご	オーバーアーケード	

## ● 3 面積別

面積	消防用設備等	対象
0㎡	消火器具	1項イ、2項、6項イ(1)から(3)、6項ロ、16の2項、16の3項、17項、20項、少量危険物・指定可燃物及び木造+3階居室
	スプリンクラー設備	6項イ(1)及び(2)、6項ロ(1)及び(3)、要避難介護の6項ロ(2)、(4)及び(5)オーバーアーケード側面建築物+5階
	特殊消火設備(泡・粉末)	13項ロ、屋上ヘリポート
	自動火災報知設備	2項ニ、5項イ、6項イ(1)から(3)、6項ロ、6項ハ(入居、宿泊)、17項、16の2項(2項ニ、5項イ、6項イ(1)から(3))、6項ロ、6項ハ(入居)、11階、特定1階段及び指定可燃物等500倍
	消防機関へ通報する火災報知設備	6項イ(1)から(3)、6項ロ、16の2項及び16の3項
	非常警報設備	オーバーアーケード
	非常警報設備(放送設備)	地下3階、11階
	誘導灯	特定用途、地階、無窓階及び11階、
	誘導標識	1項から16項
	連結送水管	18項
	コンセント設備	オーバーアーケード
	排煙装置	オーバーアーケード
	投光器	オーバーアーケード
	消火足場	オーバーアーケード
消防隊登はんはしご	オーバーアーケード	
50㎡	消火器具	地階、無窓階又は3階
50㎡超	非常警報設備(放送設備スピーカー)	M級
100㎡	消火器具	木造+3階居室、木造(3項、5項、12項及び13項)
	屋内消火栓設備(動力消防ポンプ設備)	1項の地階、無窓階又は4階
	自動火災報知設備	2項イからハ、3項、16項イ(2項及び3項部分100㎡)の地階、無窓階又は4階
100㎡超	非常警報設備(放送設備スピーカー)	L級
150㎡	消火器具	1項ロ、3項から5項、6項イ(4)、ハ及びニ、9項並びに12項から14項
	屋内消火栓設備(動力消防ポンプ設備(16の2項除く。))	2項から10項、12項及び14項の地階、無窓階又は4階、16の2項
	漏電火災警報器	鉄網(5項及び9項)
200㎡	屋内消火栓設備(動力消防ポンプ設備)	11項及び15項の地階、無窓階又は4階
	水噴霧等消火設備	自動車修理工場(地階又は2階)、駐車場(地階又は2階)、電気室、多量火気使用室等
	自動火災報知設備	駐車場(地階又は2階)、9項イ、自動車修理工場(地階又は2階)
275㎡	スプリンクラー設備	6項ロ(避難要介助非該当(2)、(4)及び(5))
300㎡	消火器具	7項、8項、15項及び16項
	スプリンクラー設備	1項の地階、無窓階又は4階の舞台部
	水噴霧等消火設備	駐車場(屋上)
	自動火災報知設備	1項、2項イからハ、3項、4項、6項イ(4)及びニ、16項イ、16の2項、地階、無窓階及び3階
	漏電火災警報器	鉄網(1項から4項、6項及び12項)
400㎡	水噴霧等消火設備	道路の用部分(屋内)
	自動火災報知設備	道路の用部分(屋内)
500㎡	屋内消火栓設備(動力消防ポンプ設備)	1項
	スプリンクラー設備	1項舞台部
	水噴霧等消火設備	駐車場(1階)、自動車修理工場(1階)、通信機器室

◇ 消防用設備等早見表

500 m <sup>2</sup>	自動火災報知設備	5 項口、7 項、8 項、9 項口、10 項、12 項、13 項イ、14 項、16 の 3 項（1 項から 4 項、5 項イ、6 項及び 9 項イ部分 300 m <sup>2</sup> ）及び通信機器室
	漏電火災警報器	鉄網（7 項、8 項、10 項、11 項及び 16 項イ（1 項から 4 項、5 項イ、6 項及び 9 項イ部分 300 m <sup>2</sup> ））
	消防機関に通報する火災報知設備	1 項、2 項、4 項、5 項イ、6 項イ(4)、6 項ハ、12 項並びに 17 項
	排煙設備	舞台部（1 項）
600 m <sup>2</sup>	水噴霧等消火設備	道路の用部分（屋上）
	自動火災報知設備	道路の用部分（屋上）
700 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備（動力消防ポンプ設備）	2 項から 10 項、12 項及び 14 項
	スプリンクラー設備	ラック式倉庫+高さ 10m
	連結散水設備	地階（1 項から 15 項及び 17 項の合計）及び 16 の 2 項
1,000 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備（動力消防ポンプ設備）	6 項口（耐火・準耐火+内装制限）、11 項及び 15 項
1,000 m <sup>2</sup>	スプリンクラー設備	2 項及び 4 項の階、1 項、3 項、5 項イ、6 項及び 9 項イの地階又は無窓階、16 項イ（1 項から 5 項イ、6 項又は 9 項イが存する階で、その部分）の地階又は無窓階、16 項イ（2 項又は 4 項が存する階で、その部分）の 4 階から 10 階、16 の 2 項及び 16 の 3 項（1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イ部分 500 m <sup>2</sup> ）
	自動火災報知設備	11 項及び 15 項
	ガス漏れ火災警報設備	地階（1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イ）、16 項イ（1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イが 500 m <sup>2</sup> ）、16 の 2 項及び 16 の 3 項（1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イが 500 m <sup>2</sup> ）
	漏電火災警報器	鉄網（14 項及び 15 項）
	消防機関に通報する火災報知設備	3 項、5 項口、7 項から 11 項及び 13 項から 15 項
	誘導灯（通路 BH）	1 項から 4 項及び 9 項イ
	連結送水管	16 の 2 項
	排煙設備	2 項、4 項、10 項及び 13 項の地階又は無窓階及び 16 の 2 項
	非常コンセント設備	16 の 2 項
	無線通信補助設備	16 の 2 項
総合操作盤	16 の 2 項	
非常電源	自家発電、蓄電池又は燃料電池（1 項から 4 項、5 項イ、6 項、9 項イ、16 項イ、16 の 2 項及び 16 の 3 項）	
1,400 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備	耐火・準耐火+内装制限（2 項から 10 項、12 項及び 14 項）
	スプリンクラー設備	ラック式倉庫+高さ 10mの耐火又は準耐火+内装制限
1,500 m <sup>2</sup>	スプリンクラー設備	1 項、3 項、5 項イ、6 項及び 9 項イの 4 階から 10 階及び 16 項イ（1 項、3 項、5 項イ、6 項、及び 9 項イが存する階で、その部分）の 4 階から 10 階
2,000 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備	耐火・準耐火+内装制限（11 項及び 15 項）
2,100 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備	耐火+内装制限（2 項から 10 項、12 項及び 14 項）
	スプリンクラー設備	ラック式倉庫+高さ 10mの耐火+内装制限
3,000 m <sup>2</sup>	屋内消火栓設備	耐火+内装制限（11 項及び 15 項）
	スプリンクラー設備	4 項（平屋除く。）、6 項イ(3)及び 16 項イ（1 項から 4 項、5 項イ、6 項及び 9 項イ部分の合計、かつ、その部分が存する階）
	屋外消火栓設備（動力消防ポンプ設備）	その他構造+1 階+2 階（1 項から 15 項、17 項及び 18 項）
	自動火災報知設備（区分鳴動）	5 階
	非常警報設備（区分鳴動）	5 階

◇ 消防用設備等早見表

5,000 m <sup>2</sup>	消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +その他構造+1 階+2 階 (1 項から 15 項、17 項及び 18 項)
	総合操作盤	地階
6,000 m <sup>2</sup>	スプリンクラー設備	1 項から 3 項、5 項イ、6 項イ(4)、6 項ハ、6 項ニ及び 9 項イ
	屋外消火栓設備 (動力消防ポンプ設備)	準耐火+1 階+2 階 (1 項から 15 項、17 項及び 18 項)
	連結送水管	5 階
9,000 m <sup>2</sup>	屋外消火栓設備 (動力消防ポンプ設備)	耐火+1 階+2 階 (1 項から 15 項、17 項及び 18 項)
10,000 m <sup>2</sup>	総合操作盤 (消防長又は消防署長が指定したもの。)	11 階+300 人 (1 項から 4 項、5 項イ、6 項、9 項イ及び 16 項イ)
	消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +準耐火+1 階+2 階 (1 項から 15 項、17 項及び 18 項)
15,000 m <sup>2</sup>	消防用水	敷地 20,000 m <sup>2</sup> +耐火+1 階+2 階 (1 項から 15 項、17 項及び 18 項)
20,000 m <sup>2</sup>	総合操作盤	5 階 (1 項から 4 項、5 項イ、6 項、9 項イ及び 16 項イ)
30,000 m <sup>2</sup>	誘導灯 (非常電源 60 分)	15 階
	総合操作盤	15 階 (1 項から 16 項)
50,000 m <sup>2</sup>	誘導灯 (非常電源 60 分)	
	総合操作盤	1 項から 16 項

● 4 階数別

階数	消防用設備等	対象
無窓階	消火器具	50 m <sup>2</sup>
	屋内消火栓設備 (動力消防ポンプ設備)	100 m <sup>2</sup> (1 項)
		150 m <sup>2</sup> (2 項から 10 項、12 項及び 14 項)
		200 m <sup>2</sup> (11 項及び 15 項)
	スプリンクラー設備	300 m <sup>2</sup> (1 項舞台部)
		1,000 m <sup>2</sup> (2 項、4 項及び 16 項イ (1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イが存する階))
		3,000 m <sup>2</sup> (1 項、3 項、5 項イ、6 項及び 9 項イ)
	自動火災報知設備	100 m <sup>2</sup> (2 項イからハ、3 項及び 16 項イ (2 項及び 3 項部分 100 m <sup>2</sup> ))
		300 m <sup>2</sup>
	非常警報設備	20 人 (1 項から 17 項)
	避難器具	100 人+3 階 (12 項及び 15 項)
誘導灯	5 項口、7 項、8 項、10 項から 15 項及び 16 項口	
排煙設備	1,000 m <sup>2</sup> (2 項、4 項、10 項及び 13 項)	
地階	消火器具	50 m <sup>2</sup>
	屋内消火栓設備 (動力消防ポンプ設備)	100 m <sup>2</sup> (1 項)
		150 m <sup>2</sup> (2 項から 10 項、12 項及び 14 項)
		200 m <sup>2</sup> (11 項及び 15 項)
	スプリンクラー設備	300 m <sup>2</sup> (1 項舞台部)
		1,000 m <sup>2</sup> (2 項、4 項、16 項イ (1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イが存する階))
	水噴霧等消火設備	200 m <sup>2</sup> (自動車修理場、駐車場)
	自動火災報知設備	100 m <sup>2</sup> (2 項イからハ、3 項、16 項イ (2 項及び 3 項部分 100 m <sup>2</sup> ))
		200 m <sup>2</sup> (自動車修理工場及び駐車場)
		300 m <sup>2</sup>
	ガス漏れ火災警報設備	1,000 m <sup>2</sup> (1 項から 5 項イ、6 項、9 項イ、16 項イ (1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イ部分の合計 500 m <sup>2</sup> ))、16 の 3 項 (1 項から 5 項イ、6 項及び 9 項イ部分の合計 500 m <sup>2</sup> ))
非常警報設備	20 人 (1 項から 17 項)	

◇ 消防用設備等早見表

	避難器具	10人+下階に1項から4項、5項イ、6項、9項イ、12項イ、13項イ、14項又は15項(5項及び6項)
地階	避難器具	20人(6項)
		30人(5項)
		50人(1項から4項及び7項から11項)
		100人(12項及び15項)
	誘導灯	5項口、7項、8項、10項から15項及び16項口
	連結散水設備	700㎡(1項から15項及び17項の合計及び16の2項)
	排煙設備	1,000㎡(2項、4項、10項及び13項)
	総合操作盤	5,000㎡
	フード等自動消火装置	厨房入力350KW+1項から4項、5項イ、6項、9項イ、16項イ、16の2項及び16の3項
地下3階	非常警報設備(放送設備)	
	非常警報設備(非常電話)	地下3階以下部分
2階	避難器具	10人+下階に1項から4項、5項イ、6項、9項イ、12項イ、13項イ、14項又は15項(5項及び6項)
		10人+1階段(2項、3項及び16項イで2階に2項又は3項)
		20人(6項)
		30人(5項)
	50人+耐火構造以外(1項から4項及び7項から11項)	
	水噴霧等消火設備	200㎡(自動車修理工場及び駐車場)
	自動火災報知設備	200㎡(自動車修理工場及び駐車場)
3階	消火器具	木造+居室
	自動火災報知設備	300㎡
	避難器具	10人+1階段
		50人(1項から4項及び7項から11項)
		100人+無窓階(12項、15項)
150人(12項及び15項)		
4階	屋内消火栓設備(動力消防ポンプ設備)	100㎡(1項)
		150㎡(2項から10項、12項及び14項)
		200㎡(11項及び15項)
	スプリンクラー設備	300㎡(1項舞台部)
	自動火災報知設備	100㎡(2項イからハ、3項、16項イ(2項及び3項部分100㎡))
	避難器具(固定はしご)	転落防止措置
4階以上10階以下	スプリンクラー設備	1,000㎡(16項イ(2項又は4項が存する階で、その部分))
		1,500㎡(1項、3項、5項イ、6項及び9項イ及び16項イ(1項、3項、5項イ、6項、及び9項イが存する階で、その部分))
5階	スプリンクラー設備	オーバーアーケード側面建築物
	自動火災報知設備(区分鳴動)	3,000㎡超
	非常警報設備	3,000㎡超
	連結送水管	6,000㎡
	総合操作盤	20,000㎡(1項から4項、5項イ、6項、9項イ及び16項イ) 30,000㎡(1項から16項)
7階	連結送水管	
11階	スプリンクラー設備	1項から4項、5項イ、6項、9項イ
		11階以上部分(5項口、7項、8項、9項口、10項から15項及び17項から20項)
	自動火災報知設備	11階以上部分
	非常警報設備(放送設備)	
	非常警報設備(非常電話)	11階以上部分
	誘導灯	11階以上部分
	非常コンセント設備	11階以上部分
	総合操作盤	10,000㎡+300人(1項から4項、5項イ、6項、9項イ及び16項イ)

15階	誘導灯（非常電源 60分）	30,000㎡
	総合操作盤	30,000㎡
屋上	自動火災報知設備	600㎡（道路の用）
	水噴霧等消火設備	200㎡（駐車場）
		600㎡（道路の用）

## ● 5 収容人員別

収容人員	消防用設備等	対象
1人	ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設
10人	避難器具	2階+下階に1項から4項、5項イ、6項、9項イ、12項イ、13項イ、14項又は15項（5項、6項）
		2階+1階段（2項、3項及び16項イで2階に2項又は3項）
		3階+1階段
20人	非常警報器具	<b>4項、6項口から6項二、9項口、12項</b>
	非常警報設備	<b>5項イ、6項イ、9項イ</b> 、地階又は無窓階（1項から17項）
	避難器具	地階又は無窓階（6項）
30人	避難器具	地階又は2階（5項）
50人	自動火災報知設備	多衆用厨房、ボイラー室及び電気室部分
	非常警報設備	<b>1項から17項</b>
	避難器具	1項から4項及び7項から11項の地階又は2階（耐火構造の2階除く。）
100人	避難器具	12項及び5項の地階又は3階+無窓階
150人	避難器具	3階（12項及び15項）
300人	非常警報設備（放送設備）	<b>1項から4項、5項イ、6項及び9項イ</b>
500人	非常警報設備（放送設備）	<b>16項イ</b>
800人	非常警報設備（放送設備）	<b>5項口、7項及び8項</b>

## ● 6 高さ別

高さ	消防用設備等	対象
6m超	スプリンクラー設備（放水型ヘッド）	4項及び指定可燃物等
10m	スプリンクラー設備	700㎡+ラック式倉庫
		1,400㎡+ラック式倉庫（耐火又は準耐火+内装制限）
		2,100㎡+ラック式倉庫（耐火+内装制限）
10m超	スプリンクラー設備（放水型ヘッド）	
20m	自動火災報知設備（炎感知器）	
31m超	消防用水	25,000㎡（地階部分面積除く。）
	フード等自動消火装置	厨房入力 350KW
70m超	連結送水管（ブースターポンプ）	



## ● 7 その他

消防用設備等	対 象
消火器具	17項、20項、少量危険物及び指定可燃物等（指定数量以上）及び木造+3階居室
大型消火器	指定可燃物等 500 倍
屋内消火栓設備（動力消防ポンプ設備）	指定可燃物等 750 倍
スプリンクラー設備	指定可燃物等 1,000 倍、6項口（避難要介助非該当(2)、(4)及び(5)除く。）、16の2項（6項口（避難要介助非該当(2)、(4)及び(5)除く。）部分）及びオーバーアーケード側面建築物+5階
水噴霧等消火設備	13項口、屋上ヘリポート、機械式駐車場 10 台、指定可燃物等 1,000 倍
自動火災報知設備	特定 1 階段及び指定可燃物等 500 倍
ガス漏れ火災警報設備	温泉採取施設+1 人
漏電火災警報器	鉄網（17項）、鉄網+50A 超（1項から 6項、15項、16項）
非常警報設備	オーバーアーケード
非常警報設備（放送設備）	地下 3 階、11 階、16の2項及び 16の3項
非常警報設備（非常電話）	地下 3 階、11 階、16の2項及び 16の3項
誘導標識	1項から 16項
連結送水管	18項、道路の用
コンセント設備	オーバーアーケード
排煙装置	オーバーアーケード
投光器	オーバーアーケード
消火足場	オーバーアーケード
消防隊登はんはしご	オーバーアーケード

◇消防用設備等早見表 平成 25 年 1 月 1 日追加  
◇消防用設備等早見表 令和 2 年 3 月 16 日一部改訂  
◇消防用設備等早見表 令和 7 年 1 月 1 日一部改訂